



奉仕を通じて
平和を
田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：仲田 廣志 副会長：大塚 博巳 幹事：池ノ谷 敏正 副幹事：森下 敏顯

第2001回



【2012-2013年度 RI テーマ】 ■ ソング 我が藤枝ロータリー ■ ソング リーダー 竹田 勲君

会長報告

仲田 廣志君

皆さん、こんにちは。今日の会長報告が私の最後の会長報告となります。会員の皆様には私の拙い報告に1年間



お付き合いいただきましたこと改めまして感謝とお礼を申し上げます。さて、先週の2000回夜間記念例会には会員37名、ご夫人13名、そして故石割会員の娘さんを含めまして総勢51名の方に御出席いただき盛大にお祝いすることができました。チャーターメンバーの江崎会員からは、創立当時の思いでも交えながら藤枝クラブの歩みをお話しいただきました。江崎会員からは創立時からの貴重な会報をご持参いただきました。先週も回覧させていただきましたが、宴席での回覧でしたのでご覧になっていらっしゃる方もおられると思ひまして、御借りしてまいりました。今日の例会で回覧させていただいていますので是非この貴重な資料をご覧いただきたいと思ひます。また、創立半年後に入会されました櫻井会員からも2番目ではだめなんですか、2番目が大好きといったユーモアも含めた楽しいお話をいただきました。創立幹事の二世会員である松田君のお話など数人の方の興味深いお話をいただき、会も盛り上がったように思ひます。外部の出し物をお願いしての例会ではありませんでしたが、美味しいお料理とお酒をいただきながらの会員ご夫人の語りも弾み本当に親睦を深められたのではないかと思ひます。手に手をつないでも、広い会場の

テーブルの外に今年度一番の大きな輪を作って大合唱できたように思ひます。皆様のこの1年間のご協力お力添えに感謝いたします。また、2620地区ガバナー高野孫左衛門様には2000回記念例会にお気遣いいただき祝電をいただきました事、失礼かと思ひますが会報を通じて厚くお礼申し上げます。まして最終の会長報告とさせていただきます。

幹事報告

池ノ谷 敏正君

- 2620地区 高野ガバナーより地区大会のお礼文が届いております。
- 石割規子さまより2000回記念夜間例会のお礼文が届いております。
- 2620地区よりガバナー事務所お休みのお知らせが届いております。RI国際大会のため、6月19日(水)～25日(火)までお休み
- 2620地区よりガバナーエレクト事務所移転完了のお知らせが届いております。静岡6クラブ合同事務局移転のお知らせが届いております。
- 2620地区より活動報告が届いております。静岡新聞に清水中央RCの活動が掲載されました。「TOGETHERS インしずおか」が毎日新聞に掲載されました。

「TOGETHERS インしずおか」が静岡新聞に掲載されました。

朝日新聞に掲載されました。

- 公益財団法人米山記念奨学会より
ハイライトよねやま159号が届いております。
- 藤枝市国際友好協会より
会報と総会資料が届いております。

出席報告

中森 義次君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
33 / 42 78.57%	38 / 42 90.47%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

畑君 松葉隆君 山田君 江崎晴君
大杉君 落合君 仲田晃君 間野君 柳原君

(2) メイクアップ者

松葉 隆夫君(焼津南)

スマイルBOX

中森 義次君

- 前回お休みしてしまい。鈴木邦昭リーダーに会社までプレゼントを届けていただきました。1年苦勞をかけた上に、最後まで世話をやかせる委員長でした。ありがとうございました。

森下 敏顯君

- 69回目の誕生日です。鈴木舜光君
- ポール・ハリスフェローの3回目のバッジを戴きました。櫻井 龍太君
- 6/15 静岡CC袋井コースで2012-20123ゴルフ同好会ゴルフコンペ、無事終了することができました。ご協力ありがとうございました。また、次年度も訳がわからないけど、事務局になってしまいました。

池谷 佳典君

スマイル累計金額 242,790円

会員卓話

仲田 廣志君



皆さん、この一年間この頼りない会長を支えてくださりまして有難うございました。池ノ谷幹事、大塚副会長をはじめとして理事の皆さん、会長の皆さんにお助けいただいて何とか職責を果たすことができました。会長職を務めさせていただいて私が一番感じたことは、会員の皆さんの友情です。様々な場面での皆さんの気遣い思いやり助言をいただき、その思いは会長になってより強く感じる事が多かったように思います。今年度、高野ガバナーから「クラブ自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」とい運営方針が示されました。2620地区の運営方針を受けまして、藤枝クラブのテーマは「より意義を感じるクラブへ」とさせていただきます。40周年の次の年度ということで静かでゆったりとした何もない年度となるだろうと思いましたが、会員家族の親睦旅行を今年の目玉として計画させていただきました。親睦委員長さんには大変なご苦勞をお掛けして申し訳なかったところですが、親睦を大いに深められた楽しい旅ができたものと思っております。また、皆さんも同じ思いを持っておられたことと思いますが、私が危惧感を抱いていたことは、二点ありました。一つは会員数の問題です。私が入会して15年と6ヶ月になりますが入会時の会員数は57名でした。私の中でイメージでは会長職の指名対象者となるのは今より7~8年後と予想していたところですが、会員数の減少の影響で今年度氏名されたところです。会員増強委員長さんを中心として会員全員4グループの編成の中で精力的に活動いただいた結果、ここ数年の増減ゼロから純増へと前へ進めましたことを感謝致します。新入会員をお迎えしたことによってクラブもより活性化したように感じます。もう一点危惧しておりました順心高校のインターアクトクラブも、インターアクト委員長をはじめ会員の皆さんの積極的なアプローチにより4名から17名へと部員数が飛躍的に増加し安心したところです。一年皆様に「より意義を感じるクラブへ」づくりに私なりに精一杯務めさせていただいたつもりですが、至らない面も多々あり皆さんにご迷

惑、失礼をお掛けしたところもあるかと思いますが、ロータリーの友情に免じてお許し願いたく思います。次年度は大塚年度です。気配りの素晴らしい人望の厚い方で、お仕事のみならず体協の副会長等要職もなされている方です。森下幹事ははじめ強力な布陣でクラブを前進させてくれるものと思います。会員の皆様方には、今年度お寄せいただいたご厚情に重ねて感謝申し上げますと共に、次年度もご協力お力添えいただきますようお願い致します。皆さん、一年間ご協力ありがとうございました。「藤枝クラブの会長職は実に楽しかった」を会長最後のお礼の言葉とさせていただきます。



池ノ谷 敏正君

私が幹事を務めて、本日が最後の例会となりました。

副幹事に指名を受けてから2年。

当時は、とてつもなく大変で辛い日々を想像していましたが、今その日々を振り返ってみると、あっという間だったというのが偽らざる感想です。職業柄、仕事面で代理のきかない職種であることから、職業奉仕とロータリー活動との狭間に立つ事も多く、その調整に苦労したことが一番に思い起こされます。幹事職としてもいろいろなことがありましたが、今はただただ終わったという安堵感でいっぱいです。

融通が利かず、変に堅物な性格が強い私のため、いつまでも不慣れ感がぬけず、段取りどおりの固い感じの例会進行だったのではなかったかと、反省しています。今も、用意してきた原稿通り、寸分たがわぬ発表中です。

それでも、私なりに例会進行に工夫はしていましたが、その成果が現れ、例会進行のなかで少しずつ皆様から笑い声が聞けるようになってきたのも、今年の4月ころからだったかと記憶しています。とてもうれしかった瞬間でした。それは10か月

近くかかって、やっと私の肩の力が抜けてきた証だったのかもしれませんが。

そんな不調法ものの私が、由緒あるこの藤枝ロータリークラブの幹事を務められたのは、一重絵に会長を始め、会員皆様方のご協力・友情によるものであると痛感しています。

仲田会長、1年間ありがとうございました。

会長におかれましては、本来、会長のフォロー役であるはずの幹事の私を何度もフォローしていただき、本末転倒の場面もありましたが、慈愛の心で「いいよ、いいよ」と許してくださいました。

本当にありがたかったです。その都度、救われた気持ちでした。

仲田会長だから、だったからこそ間曲りなりに勤まった幹事でした。

また、森下副幹事にもとても助けられました。この1年で何度か例会を欠席してしまった私でしたが、そのたびお願いをすると嫌な顔もせず、例会進行を引き受けてくださいました。

本来自分がしなくてはいけないことを、ひとにお願いすることは、とても心苦しく、切り出しにくいものですが、それを快く受け止めてくださった森下副幹事、とても有難かったです。

さらに、大塚副会長を始め、理事の方々、各委員会の役員の皆様にも、いろいろと助けていただきました。もちろん、会員の皆さんの慈愛あふれるロータリー精神にも感謝しています。

そして、忘れていけないのが事務局の奥脇さん。陰になり、私を支えてくれました。大変お世話をかけてしまいました。

改めまして皆様、本当に一年間ありがとうございました。

こうして振り返りますと、幹事＝感謝、の1年だったと思えます。

こんな私ではありますが、次年度は副会長とのこと。

まだまだ要職を続けさせていただくことになりそうですが、これからも皆様よろしく願います。

1年間ありがとうございました。

「小林治助先輩の
思い出」

竹田 勲君



私が藤枝クラブに入会したのがクラブが 20 周年を迎える年でした。

今は亡き秋山さんに誘われて、記念事業で新クラブを誕生させることになっているので新しいクラブのメンバーとして近くの 3 人に声をかけたが 2 人がコケて 1 人になってしまったので藤枝クラブに入会することにしたということで今に至っています。

小林先輩と親しくさせていただききっかけになったのは、会報委員になったことからです。例会が終り週末までに原稿を校正して、共立印刷さんの事務所に届けることになっていましたが、不慣れな私に出来なくて電話して先輩の自宅に夜届けさせていただくことが度重なったことからでした。

小林先輩は、私の町内出身の彫刻家竹田京一氏の作品を愛されて事務所の玄関に飾られるほどでした。

千葉の御宿にも小林先輩に誘われて月の砂漠像の見学にも行かせていただきました。

藤枝クラブが望月晃会長の時小林先輩の計らいで藤枝郷土博物館に竹田京一氏の「月の砂漠像」が寄贈されました。除幕式の後だったと思います。竹田京一氏が交通事故で命を落とされてしまいました。

小林先輩が、私に「竹田君ヤボクは彼に本当に悪いことをしてしまった。ボクが頼まったらこんなことにはならなかったのに」と涙ながらに話されました。私はそんなことはないよ、ふるさとに作品を残せたことは彼にとっては幸せなことだと思うよと慰めるのが精一杯でした。

今も博物館で「月の砂漠像」を見るとそんなことが思い出されます。

会長バッジの引継ぎ



冠 講 座

第11回講師

河井 宏文君

「建設作業における K Y T (危険予知訓練)」

(担当 / 池谷君)